

静岡県教育委員会

議事録

令和3年度 第14回定例
12月17日（金）

静岡県教育委員会教育長 木苗直秀は、

令和3年12月17日に教育委員会第14回定例会を招集した。

- | | | | | |
|---|------|---------------|---------|--------|
| 1 | 開催日時 | 令和3年12月17日（金） | 開会 | 15時30分 |
| | | | 閉会 | 15時40分 |
| 2 | 会場 | 教育委員会議室 | | |
| 3 | 出席者 | 教 育 長 | 木 苗 直 秀 | |
| | | 委 員 | 渡 邊 靖 乃 | |
| | | 委 員 | 藤 井 明 宏 | |
| | | 委 員 | 伊 東 幸 宏 | |
| | | 委 員 | 小野澤 宏 時 | |

事務局（説明員）	長 澤 由 哉	教育部長
	塩 崎 克 幸	教育監
	水 口 秀 樹	理事（総括担当）
	松 井 和 子	理事
	松 下 明 生	参事兼教育施設課長
	宮 崎 文 秀	参事兼義務教育課長
	中 山 雄 二	教育政策課長
	青 木 康 行	財務課長
	本 村 勉	教育厚生課長
	本 多 伸 治	高校教育課長
	伊 賀 匡	特別支援教育課長
	近 藤 浩 通	健康体育課長
	山 下 英 作	社会教育課長
	中 川 恵	静岡教育事務所長
	松 山 淳	静岡西教育事務所長
	松 下 和 弘	総合教育センター所長
	赤 石 達 彦	中央図書館長
	貝 瀬 佳 章	教育総務課参事

4 その他

(1) 報告事項は了承された。

【開 会】

教 育 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。
今回の議事録の署名は、私のほか、渡邊委員にお願いする。

報告事項1 令和4年度当初予算部局調整案の概要

教 育 長： 報告事項1「令和4年度当初予算部局調整案の概要」について、青木財務課長より説明願う。

財 務 課 長： <報告事項について説明>

教 育 長： 質疑等はあるか。

渡 邊 委 員： 2 ページ目のスクール・サポート・スタッフ配置関連事業費や児童・生徒支援充実関連事業費について、十分な人員が学校に配置される予定か。また、3 ページ目に部活動指導関連事業費について記載があり、この予算は、「部活動を活発にしていく」というよりも、「教職員の多忙化解消」を目的としていると認識しているが、そのような目的に使われる予定か。

財 務 課 長： 1 点目のスクール・サポート・スタッフ配置関連事業費については、今年度と比較して、小学校は変化がないが、中学校については、学校数の減少による自然減があり、169 校から 166 校に減少する予定である。また、全体として、人事委員会勧告の関係で、期末手当の減に伴う共済費の減により、若干の減少になっているが、今年度の同じ時間・配置ができるように予算を積んでいる。また、児童・生徒支援充実関連事業費については、ヤングケアラー対応分として新規分を計上しており、ヤングケアラーの人工を 60 人工新規で増やしている。県立高校においてもスクールカウンセラーの増を図る予定である。今年度に比べてサポートをしっかりと行いたいということで、増額の要求になっている。

部活動指導関連事業費について、県立学校においては、指導員が今年度は 43 人だったのが 56 人、市町立中学校については、要望に基づき 73 人から 75 人と増やしている。また、多忙化解消のために部活動アシスタントという制度を新規に設け、指導員の増強を図っていく。教員の多忙化解消につながる取組を新たに盛り込んでいる。

渡 邊 委 員： 学校を支えている人が増えていくということは大事なことだと思う。そこにちゃんと予算が配分される動きあり、良いことだと思う。

教 育 長： 他に意見は無いか。

全 委 員： (特になし)

教 育 長： 報告事項 1 を了承する。

教 育 長： 以上で、本定例会の議事は全て終了した。

これをもって、令和 3 年度第 14 回教育委員会定例会を閉会とする。